

～河道掘削、護岸整備等による浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、護岸整備、橋梁架替等
- ・持続可能な施設能力の維持（河道内における堆積土砂の撤去等）
- ・下水道による雨水排水施設の整備、区画整理等による調整池の整備
- ・流域における雨水貯留浸透施設の整備
- ・溪流保全工等の整備（「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策）
- ・ため池等の農業施設の活用・管理
- ・上流域における森林整備及び治山対策
- ・一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ
- ・雨水貯留浸透施設整備の支援制度等

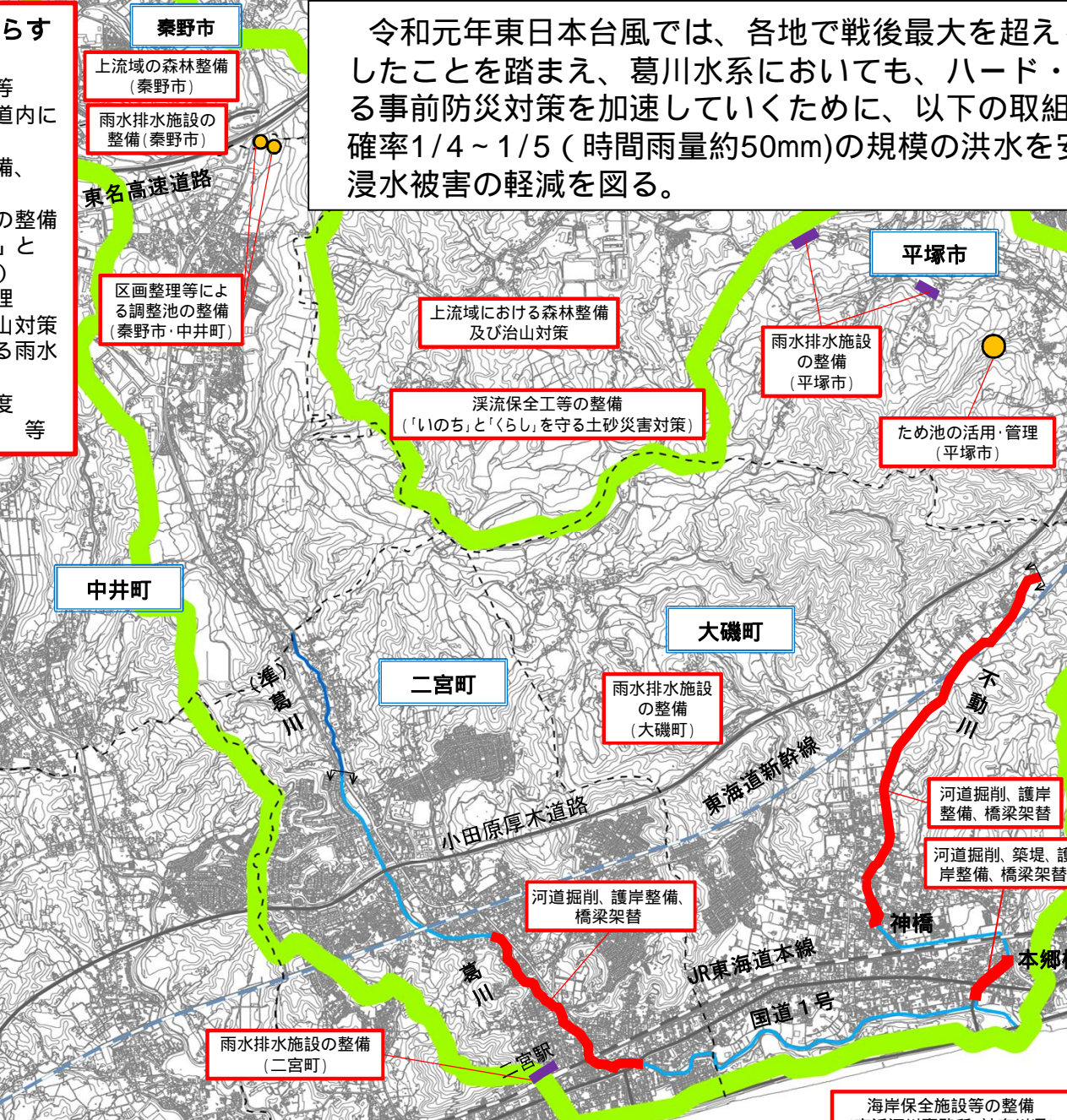
令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、葛川水系においても、ハード・ソフト一体となった実効性のある事前防災対策を加速していくために、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/4～1/5（時間雨量約50mm）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

被害対象を減少させるための対策

- ・災害リスクを踏まえた立地適正化計画の推進と立地抑制・移転の誘導
- ・水災害リスク情報の充実（内水浸水想定区域図等）
- ・水災害リスク情報空白地帯の解消（土砂災害警戒区域等）等

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップの改良、周知、活用
- ・水災害リスク情報の充実、水災害リスク情報空白地帯の解消
- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の設置・更新
- ・タイムラインに基づく実践的な訓練の実施
- ・防災教育や防災知識の普及
- ・避難情報の発令に着目したタイムラインの検証・見直し
- ・要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成及び避難訓練の実施
- ・マイ・タイムラインの取組推進
- ・避難行動や被害軽減行動を実行するための情報提供
- ・水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組
- ・公共施設等の浸水対策等



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。河川管理上必要な河道掘削や樹木伐採を適宜実施する。

海岸保全施設等の整備
(京浜河川事務所・神奈川県)



凡例	
■■■■	流域界
⇄	県管理区間
—	準用河川
—	下水道施設(雨水)
—	その他貯留施設等

○ 葛川では、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 河川における対策と合わせて、雨水排水施設の整備等を進める。

【中期・中長期】 引き続き、取組事業を進めると共に、河川における対策として、河道掘削、護岸整備等を進める。

あわせて、立地適正化計画の推進及び立地抑制・移転の誘導等を進める。また、避難体制の強化や観測機器の設置拡大等によるソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、護岸整備、橋梁架替	神奈川県	葛川 国道1号(塩海橋)下流～打越川合流点 不動川 葛川合流点～本郷橋、神橋上流～二級河川上流端		
	持続可能な施設能力の維持	神奈川県、平塚市、大磯町、二宮町、中井町	河道内における堆積土砂の撤去等		
	雨水排水施設の整備	平塚市、秦野市、大磯町、二宮町	上吉沢地区、土屋地区 第1号公共下水道事業 不動川排水区・葛川排水地区等 吾妻山地区		
	溪流保全工等の整備 (「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策)	神奈川県	溪流保全工等の整備		
	ため池等の農業施設の活用・管理	平塚市	水位計設置、避難体制の構築等		
被害対象を減少させるための対策	水災害リスク情報の充実、水災害リスク情報空白地帯の解消 (内水浸水想定区域等)	神奈川県、平塚市、秦野市、大磯町	ハザードマップへの内水浸水想定区域の反映、周知等		
	リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導 (立地適正化計画の推進)	平塚市、秦野市	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の推進及び立地抑制・移転の誘導		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	神奈川県	危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の観測機器の設置拡大		
	避難体制等の強化	神奈川県、平塚市、秦野市、大磯町、二宮町、中井町	大規模氾濫減災協議会における取組方針に基づき実施		
	早期復旧・復興の体制強化	平塚市、二宮町	移動式排水設備の整備・運用		

